2012.04 改訂

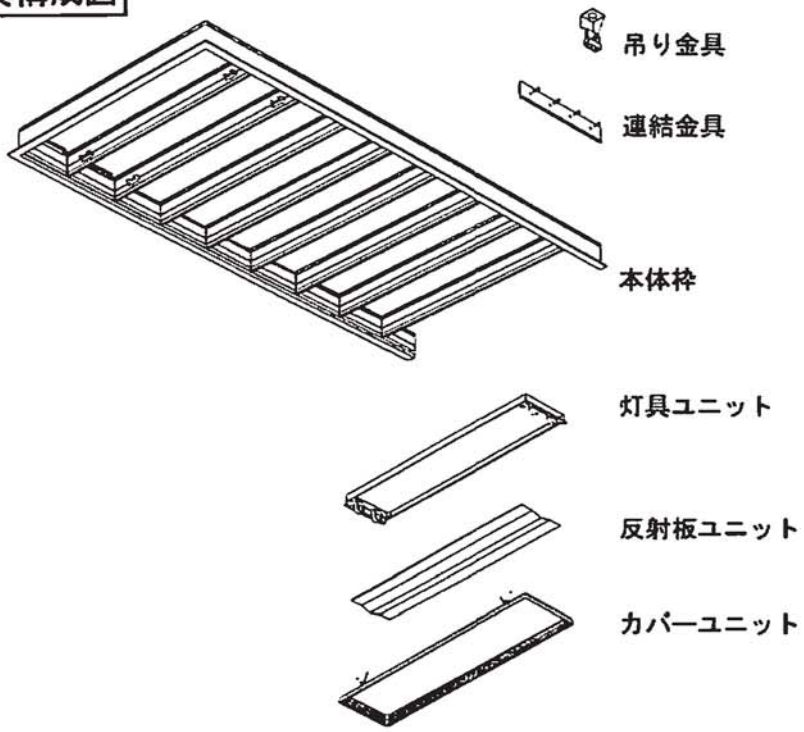
Conference- I

カンファレンス1（DF-2819）

施工マニュアル

当製品は大型埋め込みの連結器具です。
当マニュアルの取り付け手順・確認事項に従い施工をお願い致します。

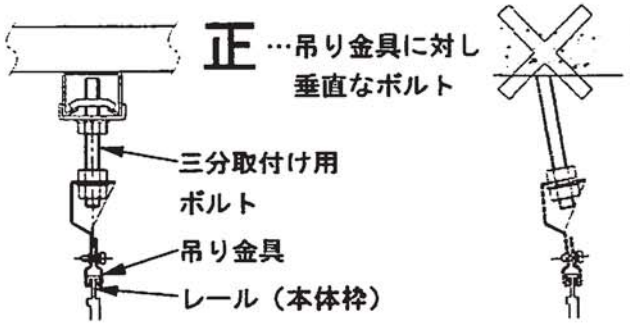
器具構成図



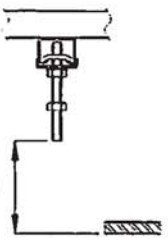
本体枠を取付ける前に

1．天井切込み穴寸法および三分取付けボルト位置を確認してください。

2．取付けボルトはレースウェイ等を使用し、必ず垂直に降ろしてください。
※傾斜したボルトは吊り金具に無理な力が加わり、レールから外れ易くなります。
危険ですからやめてください。（吊り金具…垂直静荷重 250kgf/本）

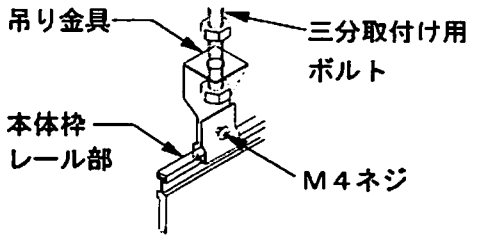


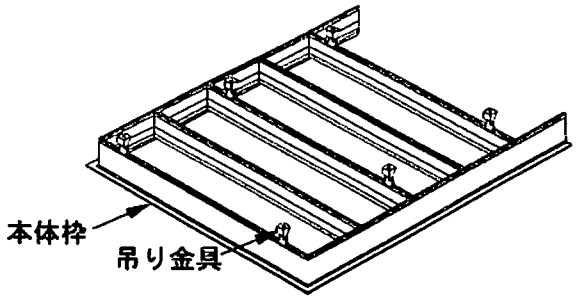
3．事前に取付けボルトの長さを調節してください。
天井面からボルト先端まで１６０±５㎜です。



本体枠の取付け

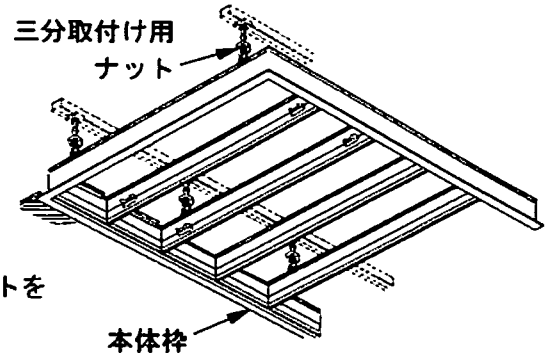
1．取付けボルト位置に合わせ、本体枠のレールに吊り金具を仮留めしてください。





2．本体枠を天井に取付けてください。

本体枠を仮吊りしてください。
（天井面より浮かせた状態）



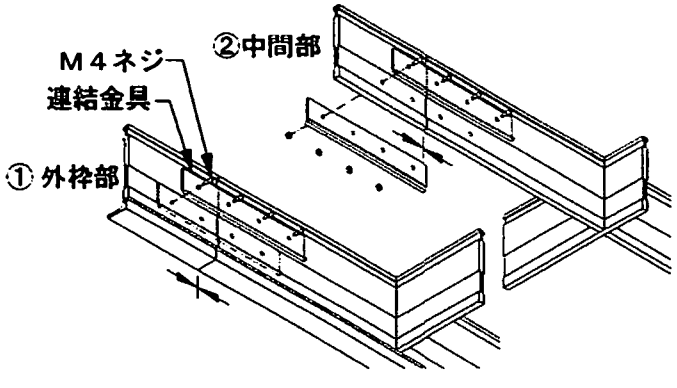
※連結の場合－取付け時の重点ポイント－

本体枠（分割）の取付けには
下記の手順を厳守してください。

（１）分割された本体枠を三分取付け用ナットを
締め込まずに仮吊りしてください。
（天井面より浮かせた状態）

（２）各々の枠間の上下、左右の段差が無いように三分取付け用ナットを調節してください。

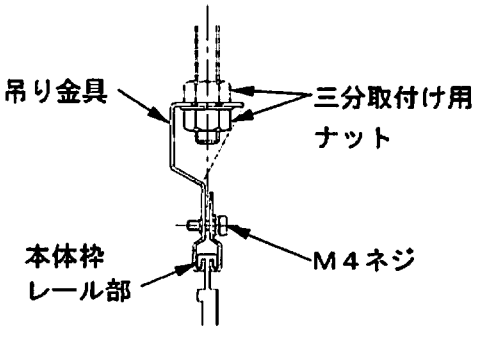
（３）連結金具をすべて溝に確実に入れ、Ｍ４ネジで固定してください。
（連結金具が溝に正しく入っていない状態では、
カバーユニットが均一には取り付きません。）
連結は全体の歪み・隙間・段差が無いよう調整してください。



①外枠部、②中間部の順に
枠間の隙間・平行を調節し
固定してください。

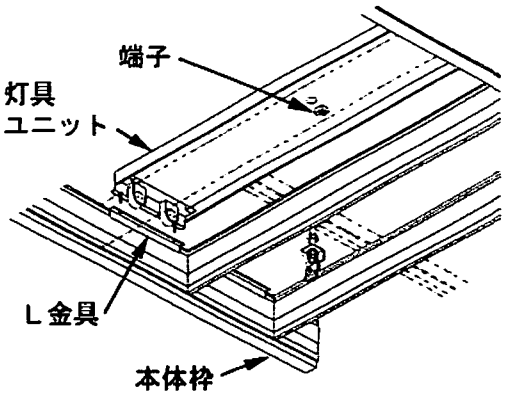
※連結金具の形状は
本体枠分割箇所に
よって異なります。

3．本体枠全体の平衡を見ながら引き上げ、
枠全体を固定してください。
（無理に天井面に枠を合せると枠全体が歪み、
不具合が生じます。）

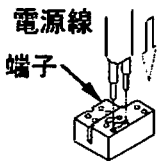


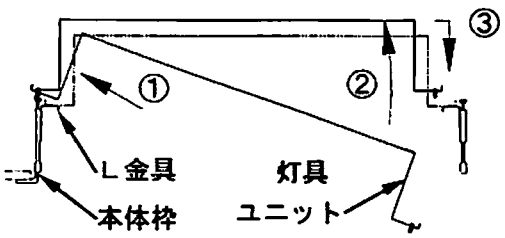
4．三分取付け用ナットおよび
仮留めした吊り金具のＭ４ネジを
締めて固定してください。

灯具ユニット・反射板ユニットの取付け



1．灯具ユニットの端子に電源線および送り用電源線を接続してください。

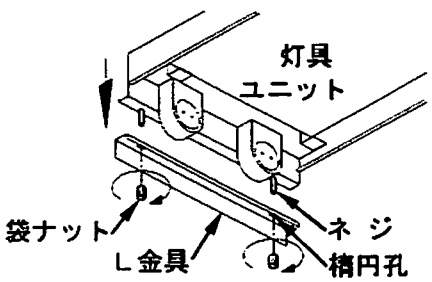




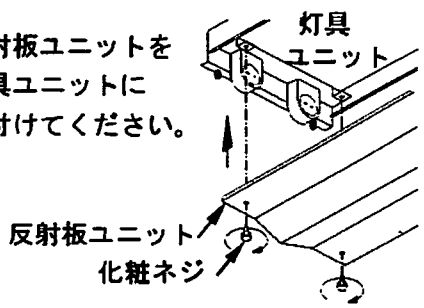
2．灯具ユニットを本体枠に取付けてください。

（1）本体枠の間に灯具ユニットを傾け入れ、L金具に乗せます。

（2）L金具の楕円孔にネジを通し、袋ナットで固定します。



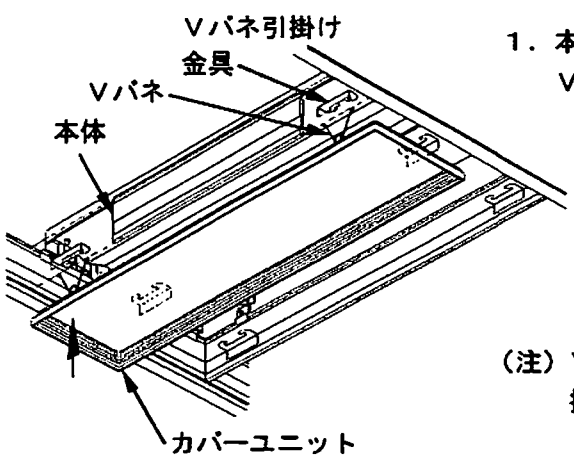
3．反射板ユニットを灯具ユニットに取付けてください。



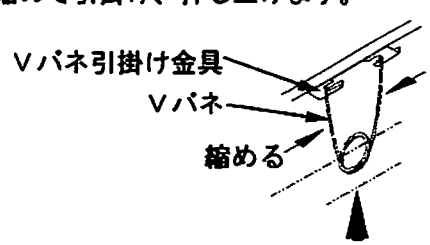
4．ランプを取付けてください。

5．点灯試験をしてください。

カバーユニットの取付け



1．本体のVバネ引掛け金具にカバーユニットのVバネを縮めて引掛け、押し上げます。



（注）Vバネは相当の強度を持っています。扱いには注意してください。

■端から順にカバーユニットを取り付けてください。

■外枠とカバーユニットの隙間を約0.5mm、カバーユニット間の隙間を約1.0mm程度を目安に調整してください。

■カバーユニットの交点が互い違いにならない様に取り付けてください。
（不完全に取り付けた場合、カバーユニットが均一に取り付けられません。）

Conference- I

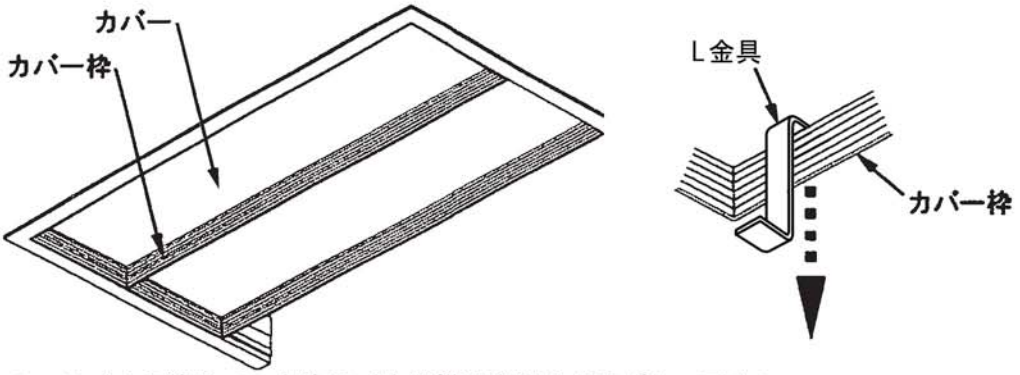
カンファレンス1（DF-2819）

yamada　取り扱い説明書（メンテナンス用）

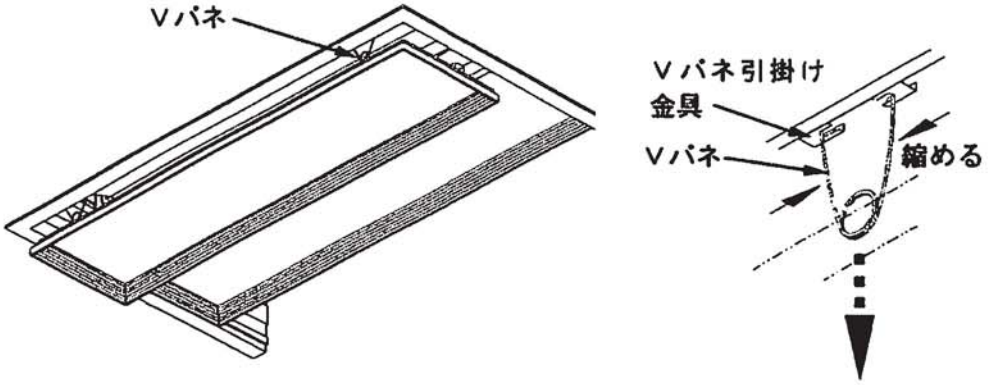
2012.04 改訂

■カバーユニットのはずし方

1．カバー枠とカバーのすき間に付属のL金具の先端を差込み、引き降ろして下さい。
ひとつのカバーを引き降ろせば、他のカバーは両手で引き降ろす事が可能です。



2．Vバネを縮めて、本体Vバネ引掛け金具よりはずして下さい。
（注）Vバネは相当の強度を持っています。扱いには注意してください。



■ランプの脱着方法

ランプを片側に押しながらはずして下さい。

■お手入れ方法

器具の汚れは、中性洗剤を浸した柔らかい布で拭き取ってください。

○金属部分は柔らかい布で軽く磨いてください。
クレンザーやたわしで磨くと傷をつけたり、腐食の原因となります。
○プラスチックなど樹脂質の部分は、柔らかい布に石ケン水を浸したもので拭いてください。